



平成22年10月29日

各 位

上場会社名 株式会社 デュオシステムズ
 代表者 代表取締役社長 恩田 饒
 (コード番号 3742)
 問合せ先責任者 管理本部長 橋本俊明
 (TEL 03-5319-3668)

平成23年3月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	80	△144	△152	△153	△2,343.64
今回発表予想(B)	140	△113	△121	△122	△1,876.03
増減額(B-A)	60	31	31	31	
増減率(%)	75.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	47	△131	△140	△164	△4,327.41

(注)前期第2四半期は連結決算のため、連結数値を記入しています。

(注)上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の実績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

修正の理由

当社は、昨年の平成21年11月より代表取締役の交代を契機に、成長力の高い企業を目指して、シナジーのある事業への進出を積極的に進めてまいりました。

民間分野へのコンサルティング事業、システム開発事業などがその例です。その結果が徐々に実を結んできています。今回の売上高の修正は、こうした新しく事業として取組んだクラウドシステム基盤構築の大型受注が主因です。

一方、コストの削減も、役員をはじめ管理職・一般職員の報酬・給与の減額、事務所経費を含む諸経費の削減に取り組んでまいりました。

しかし、前向きな投資として、優秀な人材の獲得などを行ってきた結果、全体としての一般管理費の大幅な削減にはなりません。

当社は、総務省から「自治体クラウド」の実証実験のPMOを受託しています。今年度下期から来年度にかけて、これらの関連事業も当社の業績に大きく貢献していくものと考えております。

以上のような状況のもと、第2四半期までの売上高は、当初予算80百万円に対し、140百万円(60百万円増、75.0%増)となりましたが、利益に関しましては若干の改善に留まりました。

以 上